C715TCT_(04)_

COSMOS 快適ウォッチ

家庭用

快適環境おしらせ 住宅用火災(煙式)・CO警報器

自動試験機能付

住宅用防災警報器　検定合格品
一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

型式名 **SC-715T**

取扱説明書 [保証書付]

このたびは、快適環境おしらせ住宅用火災（煙式）・CO 警報器（以下、警報器という）をお取り付けいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
なお、万一、本書を紛失されたときは、販売店にお問い合わせください。

- 消防法で定める住宅用防災警報器として設置できます。
- この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この警報器は火災による煙や不完全燃焼による一酸化炭素（以下 CO という）を検知して音声で警報を発する機能を持っていますが、火災や不完全燃焼による CO の発生を未然に防止する装置ではありません。
  火災や CO の発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- この警報器は、換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときや、CO 検知部にCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な検知になります。
  万一の火災や CO の発生に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。
- この警報器にガス漏れ検知機能はありません。
- 熱中症おしらせは、警報器周囲の環境条件から熱中症注意の目安を示し体調管理などにお役立ていただくもので、熱中症を防止できるものではありません。
- 乾燥おしらせは、警報器周囲の環境条件から空気の乾燥をお知らせし健康管理などにお役立ていただくもので、乾燥によるインフルエンザなどを防止できるものではありません。

新コスモス電機株式会社

本　　社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4				(06)6308-2310㈹
[北海道]	札幌	(011)231-1101㈹	[中　部]	名古屋	(052)951-2650㈹
[東　北]	仙台	(022)295-6061㈹		静岡	(054)255-1901㈹
[北　陸]	金沢	(076)234-5611㈹	[関　西]	大阪	(06)6308-2310㈹
[関　東]	東京	(03)5403-2707㈹	[四国・中国]	岡山	(086)435-5087㈹
	新潟	(025)365-1390㈹		広島	(082)568-2800㈹
			[九　州]	福岡	(092)431-1881㈹

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険　誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告　誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意　誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

⚠危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 必ず行う　火元を確認し、119 番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 必ず行う　消火が不可能なときは、避難してください。

CO 警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO 濃度が上昇し、短時間で生命が危険な状態になるおそれがあります。

- 必ず行う　警報音の鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中の燃焼機器を止めてください。
- 禁止　部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

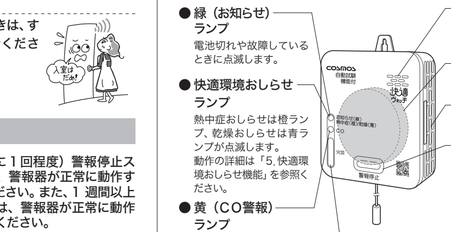
⚠警告

- 分解禁止　分解や改造はしないでください。
  故障の原因となります。
- 禁止　衝撃を与えないでください。
  故障の原因となります。
- 必ず行う　警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
  転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。
- 必ず行う　定期的に（1 ヶ月に 1 回程度）警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1 週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。
- 禁止　ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。
  火災や故障の原因となります。

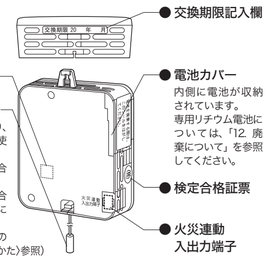
⚠注意

- 禁止　取付位置を移動させないでください。
  警報の遅れの原因となります。
  取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。
- 禁止　警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
  警報の遅れの原因となります。
- 禁止　取付ねじ 1 本で壁面に取り付けられている場合は、引きひもを手前方向に引っ張らないでください。
  警報器が落下するおそれがあります。
- 禁止　警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
  聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 必ず行う　交換期限を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
  正常に動作しないおそれがあります。
  交換期限は、本体の交換期限記入欄に示しています。
- 水ぬれ禁止　警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。
  故障の原因となります。
- 禁止　引きひもを引いて警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。
  警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

2. 各部のなまえとはたらき



3. 警報器のお知らせ機能について

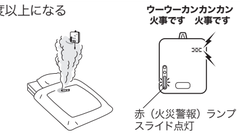


■ランプのつきかたについて
取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。

点滅	1 秒ごとに 1 回点滅	1 秒　点滅周期
電池切れ点滅	10 秒ごとに 1 回点滅	10 秒　点滅周期
故障点滅	10 秒ごとに 3 回点滅	10 秒　点滅周期

火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が一定濃度以上になると警報を発します。



燃焼機器などの不完全燃焼による CO が発生したときは

警報器周囲の CO が規定濃度以上になると警報を発します。

火災による煙と不完全燃焼による CO が同時に発生したときは

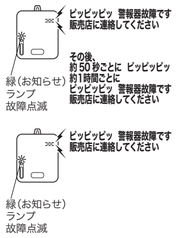
火災による煙と CO を、同時に検知したときも警報を発します。
警報音は火災警報を優先します。
警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、CO 警報音が鳴ります。

電池が切れたときは

電池切れが近づくと、「ピッ　電池切れです　販売店に連絡してください」と鳴り、緑（お知らせ）ランプが電池切れ点滅し、約 5 0 秒ごとに「ピッ」と鳴ります。
警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、「ピッ　電池切れです　販売店に連絡してください」とお知らせします。
以後、「ピッ」は停止します。
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッ　電池切れです　販売店に連絡してください」とお知らせします。

故障しているときは

故障していると、「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」と鳴り、緑（お知らせ）ランプが故障点滅し、約 5 0 秒ごとに「ピッピッピッ」、約 1 時間ごとに「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」が鳴ります。
警報停止スイッチを約 1 秒操作すると、「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」とお知らせします。
以後、「ピッピッピッ」は停止します。
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」とお知らせします。



故障状態では煙やCOを検知できず、火災警報・CO警報動作をしない場合があります。

※ 電池切れ警報中または故障警報中であっても、煙やCOを検知した場合、火災警報・CO警報を発します（煙感知部、CO検知部が故障している場合を除きます）。

交換期限を過ぎたときは

交換期限を経過してから警報停止スイッチを約1秒操作すると、「交換期限を過ぎています　販売店に連絡してください」と鳴ります。

保証書

本書はお取り付け日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による修理をお約束するものです。

警報器型式　**SC-715T**
保 証 期 間　お取り付け日から５年間

お取り付け日	年　月　日
お客さま	ご住所 お名前　様 電　話（　　）　－
販売店	住所・店名 電　話（　　）　－

（販売店さまで必ず各欄に記入して、お渡しください）

新コスモス電機株式会社
TEL（06）6308-2310（代）

（裏面もご覧ください）

〈自動試験機能〉
故障または電池切れした場合、自動的に検知し、お知らせします。

おねがい
自動試験機能では、すべての故障は検知できません。
緑(お知らせ)ランプが点滅しなくても 1 ヶ月に 1 回程度の点検を行ってください。

〈鳴動原因表示機能〉
定期点検時に警報停止スイッチを操作すると、過去 10 日以内に警報（火災・CO・故障・電池切れ）があった場合、最後に発した警報を以下のランプ表示でお知らせします。
※ 警報器が電池切れまたは故障している場合、この機能は働きません。

過去 10 日以内で最後に発した警報	緑（お知らせ）ランプ	赤（火災警報）ランプ	黄（CO警報）ランプ
火災警報	－	1 回	－
CO警報	－	－	1 回
故障警報	1 回	－	－
電池切れ警報	2 回	－	－

※ 電源投入後約 25 分間は、この機能が働きません。

4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

1 『ウーウーカンカンカン 火事です　火事です』と鳴ったときの処置のしかた

【赤(火災警報)ランプがスライド点灯】

⚠危険

消火が不可能なときは、避難してください。

火元を確認し、119 番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

初期消火

119 番への通報

警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

おねがい
火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄（CO 警報）ランプの点滅の有無を確認してください。
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声による CO 警報は発しません。

2 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプが点滅】

警報音の鳴っている部屋にいるときは

⚠危険

警報音が鳴ったら、すぐに換気し、使用中の燃焼機器を止めてください。
CO 濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼすおそれがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 使用中の燃焼機器を止める。

3 COがなくなれば、警報音が停止する。
【黄(CO警報)ランプ消灯】

4 原因を調べる。
- ふとんなどから火災が発生していないか確認してください。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていないか確認してください。

部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠危険

警報音の鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しないでください。
CO中毒のおそれがあります。

1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。

2 COがなくなれば、警報音が停止する。

3 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい
- たびたび警報音が鳴るときは、燃焼機器（ファンヒーター、ストーブなど）の点検を受けてください。

販売店まで連絡する。

3 火災やCO以外で警報音が鳴った ときの処置のしかた

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

〈火災警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを操作してください。警報音が停止します。
※ 警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5 分後に再び火災警報を発します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が停止する。

CO 以外の空気の汚れで、CO警報音が鳴ったとき

〈CO 警報音を止めたいとき〉

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲のCOが規定濃度以下になると、警報音が停止する。

警報音が鳴ったり、ランプが点灯した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈火災警報・CO 警報共通〉
- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報しやすくなることがあります。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 警報器が結露していませんか。

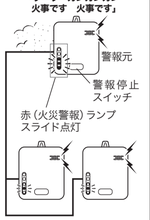
〈火災警報〉
- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていませんか。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

〈CO警報〉
- みりんなどの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。

※ 警報作動原因を取り除いてください。
（「10. 故障かな？と思ったら」参照）

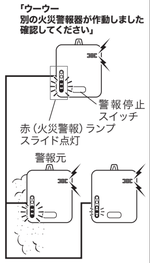
〈相互連動機能について〉

- 本警報器が火災警報を発したとき、連動接続された他の火災警報器も警報音を発します。
  本警報器の警報停止スイッチを操作すると、警報音は停止、赤（火災警報）ランプが消灯します。同時に、連動接続された他の火災警報器の警報音も停止します。



※ 警報元の警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合は、5 分後に再び火災警報を発します。
※ **他の警報器にCO警報を連動させることはできません。**

- 連動接続された他の火災警報器が火災警報を発したとき、本警報器では赤（火災警報）ランプがスライド点灯し、「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」が鳴ります。本警報器の警報停止スイッチを操作すると、警報音は停止し、赤（火災警報）ランプが消灯します。
  また、警報元の警報音声停止機能のスイッチを操作すると、本警報器の警報音は停止し、赤（火災警報）ランプは消灯します。



※ 本警報器は、5 分後に警報元が警報し続けている場合、再び連動警報を発します。

おねがい
- 連動接続された他の火災警報器は、機種により連動時の動作が異なります。必ず、接続する火災警報器の取扱説明書をお読みください。

ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

ランプ 緑（お知らせ）	ランプ 赤スライド（火災警報）	ランプ 黄（CO警報）	音声内容	事象
○	○	○	なし	通常動作（監視中）
○	●	○	火災警報音声 **「ウーウーカンカンカン 火事です　火事です」**	火災警報
○	○	◎	CO警報音声 **「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」**	CO警報
○	●	◎	火災警報音声 **「ウーウーカンカンカン 火事です　火事です」**	火災警報とCO警報
○	●	○	火災連動警報音声 **「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」**	火災連動警報
○	●	◎	火災連動警報音声 **「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」** ※警報停止スイッチを操作すると、CO警報音声 **「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」**	火災連動警報とCO警報
約10秒ごとに1回点滅	○	○	電池切れ警告音声 **「ピッ　電池切れです 販売店に連絡してください」 「ピッ」**（約50秒ごと）	電池切れ
約10秒ごとに3回点滅	○	○	故障警報音声 **「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」**（約1時間ごと） **「ピッピッピッ」**（約50秒ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能で故障と判断した状態）
○	○	○	交換期限経過音声 **「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」** ※警報停止スイッチを操作した場合	警報器の交換期限が過ぎた状態
◎	○	○	なし	電源投入から30秒間、内部電気回路をチェック中

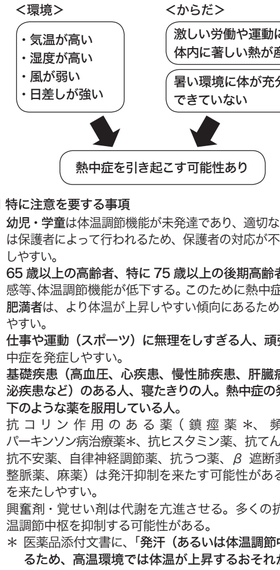
●：点灯、◎：点滅（1秒ごとに1回）、○：消灯
・警報ランプは、それぞれ独立して点灯します。
・警報音は、火災警報を優先しています。

5. 快適環境おしらせ機能

熱中症について

熱中症とは、高温環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。

■ 熱中症を引き起こす条件



■ 特に注意を要する事項

1 **幼児・学童**は体温調節機能が未発達であり、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
2 **65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者**は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
3 **肥満者**は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
4 **仕事や運動（スポーツ）に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人**は熱中症を発症しやすい。
5 **基礎疾患（高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など）のある人、寝たきりの人。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人。**
抗コリン作用のある薬（鎮痙薬＊、頻尿治療薬＊、パーキンソン病治療薬＊、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬）は発汗抑制を来たす可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。
興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬＊は体温調節中枢を抑制する可能性がある。
＊ 医薬品添付文書に、**「発汗（あるいは体温調節中枢）が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」**との記載のあるもの。
6 **発熱、下痢、二日酔い等、体調不良**の場合は発症しやすい。
7 **農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う**場合。
8 **急激に高温となった場合**（例えば6月以前）。また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動（涼しい場所から高温の場所へ）の場合および気象変化などで急激に高温となった場合など。
出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

熱中症予防のための水分補給について

■水分・塩分補給の目安
1 **日常生活における水分補給：** 基本的に、不感蒸泄や発汗による水分の補給が必要である。睡眠時、入浴時にも発汗する。就寝前、起床時、入浴前後にコップ一杯（約200ml）の水分を補給する。
日中はコップ半分程度の水分を定期的に（1時間に1回程度）補給する。のどの渇きを感じる前に水分補給を心掛ける。特に高齢者は口渇感等の感覚が衰えており、十分に注意する必要がある。
2 **運動時や作業時の補給：** 水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量に発汗する運動時や作業時には水分と同時に塩分補給が重要である。0.2%程度の塩分を含む水分を補給するよう心掛ける。
作業前：コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する。
作業中：コップ半分～1杯程度の水分･塩分を20～30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
3 **飲酒時の補給：** アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は、水分を十分に補給する。
4 **空調装置使用時の補給：** 室内は空気が乾燥することから、気がつかないうちに脱水が生じる。こまめに水分を補給する。
出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3より

熱中症おしらせ機能

警報器周囲の温度・湿度が規定値以上になるとお知らせします。
≪お断り≫
● 温度、湿度の組み合わせから得られる目安を表示するものです。個人差、体調により感じ方が異なる場合があります。
● 警報器から離れた場所や屋外は表示できません。
● 公的機関から発表される「注意」「警報」と一致しない場合があります。
● 電池切れ警報中または故障警報中は、ランプ表示と音声鳴動を行いません。

温度基準（WBGT）	ランプ表示	熱中症おしらせ動作	症状・対策
危険（31℃以上）	橙点滅（60秒に1回）	点滅 点滅から10分後 **「ポーン　部屋がたいへん暑くなっています　風通しをよくし水分や塩分を取るようにしましょう」**と鳴ります。橙ランプ点滅がさらに継続した場合、30分後と60分後にも上記と同じフレーズが鳴ります。それ以降は橙ランプ点滅のみで音声は発しません。※ この状態で警報停止スイッチを押すと熱中症おしらせの音声が鳴動します。以降、音声は停止します。	熱中症の危険があります。特別な場合以外はすべての運動を止めて、体温の上昇に注意し、十分な休息と水分補給を行ってください。
厳重警戒（28～31℃）	橙点滅（60秒に1回）	点滅 ※ この状態で警報停止スイッチを押すと熱中症おしらせの音声が鳴動します。	熱中症の危険が高まっています。激しい運動は避けて、積極的に休息と水分補給を行ってください。

厳重警戒（28～31℃）については、28℃以上31℃未満です。
● 警報器周囲が適切な温度環境になるとおしらせ状態は自動的に解除されます。

乾燥について

湿度が低くなるとインフルエンザウイルスの繁殖は活発になります。加湿器などで室内の湿度を調整しながら乾燥を防ぐことが必要となります。

■絶対湿度とインフルエンザ予測

絶対湿度	
[11g/m³以下]	インフルエンザの流行が始まる湿度
[7g/m³以下]	インフルエンザの流行が大きくなる湿度

日本におけるインフルエンザの流行予測　地球環境 Vol.8 No.2,165-174 (2003) より
・絶対湿度：空気中に含まれる水蒸気の量

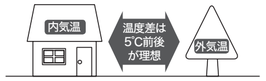
■温度と湿度の管理について

冬

■冬は乾燥に注意
冬は乾燥しやすい季節です。乾燥した状態が続き、湿度が低くなるとインフルエンザウイルスの繁殖が活発になります。加湿器などで室内を適度に調整しましょう。

夏

■クーラー病に注意
ルームエアコンの普及により冷やしすぎが多いようです。冷やしすぎるとクーラー病にかかりやくなります。内気温と外気温の差は5℃前後が目安です。冷やしすぎに注意しましょう。



乾燥おしらせ機能

警報器周囲の温度・湿度が規定値以下になるとお知らせします。
≪お断り≫
● 絶対湿度や温度等から推測される季節性インフルエンザのウイルスの生存しやすさを表示するもので、ウイルスの存在を断定するものではありません。
● 新型インフルエンザには対応していません。
● 電池切れ警報中または故障警報中は、ランプ表示と音声鳴動を行いません。

基準	ランプ表示	乾燥おしらせ動作	症状・対策
絶対湿度[7g/m³以下]温度[30℃未満]	青点滅（60秒に1回）	点滅 ※ この状態で警報停止スイッチを押すと乾燥おしらせの音声が鳴動します。	インフルエンザウイルスに感染する危険があります。手洗い・うがいを徹底し、加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ってください。

● 警報器周囲が適切な湿度環境になるとおしらせ状態は自動的に解除されます。

おしらせ切り替え機能

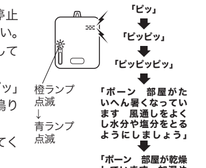
快適環境おしらせは、初期設定では、熱中症（危険、厳重警戒）・乾燥を全でおしらせします。
警報停止スイッチを約10秒操作することで、熱中症（厳重警戒）・乾燥のおしらせを行わないよう設定を切り替えることができます。
① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
② 警報停止スイッチを約10秒操作してください。
緑（おしらせ）ランプが点滅し、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」と鳴ります。
③ 警報停止スイッチから手を離してください。設定が切り替えられ、熱中症おしらせ「危険」のみのおしらせになります。

		【初期設定】おしらせを全て表示	【切り替え後】熱中症おしらせ「危険」のみおしらせ
熱中症おしらせ	危険	橙ランプ表示と音声でおしらせ 橙ランプ点滅 **「ポーン　部屋がたいへん暑くなっています　風通しをよくし水分や塩分をとるようにしましょう」**	
熱中症おしらせ	厳重警戒	橙ランプ表示でおしらせ 橙ランプ点滅	ランプ表示なし、音声なし
乾燥おしらせ		青ランプ表示でおしらせ 青ランプ点滅	ランプ表示なし、音声なし

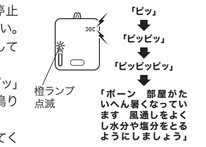
※ 設定切り替え後、再度警報停止スイッチを10秒間操作すると、初期設定に戻すことができます。

快適環境おしらせ動作確認機能

■初期設定の場合
① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
② 警報停止スイッチを約6秒操作してください。
緑（おしらせ）ランプが点滅し、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」と鳴ります。
③ 警報停止スイッチから手を離してください。
1）橙ランプが点滅し「ポーン　部屋がたいへん暑くなっています　風通しをよくし水分や塩分をとるようにしましょう」と鳴ります。
2）青ランプが点滅し「ポーン　部屋が乾燥しています　加湿や手洗い　うがいを行うようにしましょう」と鳴ります。
3）「ピー」と鳴り、終了します。



■切り替え後の場合
① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
② 警報停止スイッチを約6秒操作してください。
緑（おしらせ）ランプが点滅し、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」と鳴ります。
③ 警報停止スイッチから手を離してください。
1）橙ランプが点滅し「ポーン　部屋がたいへん暑くなっています　風通しをよくし水分や塩分をとるようにしましょう」と鳴ります。
2）「ピー」と鳴り、終了します。



6. 噴霧式殺虫剤を使用するときは

殺虫剤（くん煙式殺虫剤、加熱蒸散式殺虫剤なども含む）を使用する際は、警報器を取り外し殺虫剤がかからない場所に置くか、ポリ袋で覆ってください。誤作動のおそれがあります。
噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。
また、ポリ袋で覆った場合は必ずポリ袋を取り除いてください。

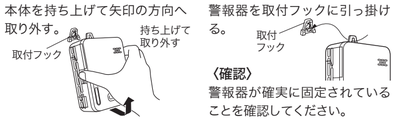
7. お手入れのしかた

警報器側面のスリット（煙感知部）にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。
警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。
① 警報器を取り外してください。（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）
② 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取ってください。
布を水またはお台所用中性洗剤に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
③ 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）
④ 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認してください。（「9. 定期点検」参照）

おねがい
● お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
● アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
● お手入れ後、煙感知部に異物（糸くず、水など）が残っていないか確認してください。

8. 警報器の取り外し・取り付けかた

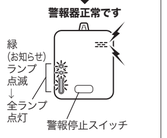
■取付フックの場合
〈取り外しかた〉
本体を持ち上げて矢印の方向へ取り外す。
〈取り付けかた〉
警報器を取付フックに引っ掛ける。
〈確認〉
警報器が確実に固定されていることを確認してください。



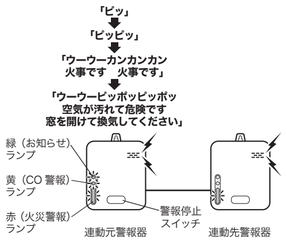
■木ねじの場合
〈取り外しかた〉
〈取り付けかた〉
警報器を木ねじに引っ掛けて、木ねじを締め付けて固定する。
〈注意〉
警報器を強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下するおそれがあります。

9. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。
（1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。）
① 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
② 警報停止スイッチを約1秒操作すると「ピッ」が鳴り、緑（お知らせ）ランプが点滅します。
1）全てのランプが点灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。
2）過去10日以内に警報（火災・CO・故障・電池切れ）があった場合、最後に発した警報をランプ表示でお知らせします。
（「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
※快適環境おしらせランプが点滅しているときに警報停止スイッチを押すと「警報器正常です」のあとに熱中症または乾燥おしらせの音声が鳴ります。



■火災警報連動
他の住宅用火災警報器と接続している場合は、定期的に（6ヶ月に1回程度）連動が正常に作動するか点検してください。
① 警報停止スイッチを約3秒操作してください。
緑（お知らせ）ランプが点滅し、「ピッ」の後に「ピッピッ」と鳴ります。
② 警報停止スイッチから手を離してください。
1）赤（火災警報）ランプがスライド点灯し「ウーウーカンカンカン　火事です　火事です」と鳴ります。
2）黄（CO警報）ランプが点滅し「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」と鳴ります。
③ 連動先の火災警報器も音声警報が鳴ることを確認してください。
④ 1分経過するまで待つか、警報停止スイッチを約1秒操作してください。
※「ピー」と鳴り、終了します。
※連動先の住宅用火災警報器の音声警報が鳴りやみます。



10. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
下記の点検･処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災や不完全燃焼が発生していないのに、警報音が鳴る。警報音が停止しない。	火災以外の煙や、CO以外の空気の汚れが原因ではありませんか？（「警報音が鳴ったり、ランプが点灯した原因について」参照）	室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
	煙感知部内に煙が残っていたり、砂や ホコリ、虫などが入っていませんか？	煙感知部内にうちわ、ドライヤー（冷風）などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも停止しない場合は販売店にご連絡ください。
	燃焼機器が異常動作していませんか？	燃焼機器の点検を受けてください。
約10秒ごとに緑（お知らせ）ランプが点滅する。約50秒ごとに「ピッ」または「ピッピッピッ」が鳴る。	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッ　電池切れです　販売店に連絡してください」のメッセージが鳴りませんか？	専用リチウム電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
	警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッ　警報器故障です　販売店に連絡してください」のメッセージが鳴りませんか？	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
警報停止スイッチを操作しても動作しない。	引きひもが正しく取り付けられていますか？	施工説明書の（引きひもの取り付けかた・取り外しかた）を参照し、正しく取り付けてください。
	専用リチウム電池が切れていませんか？（電池切れ警報をしていませんでしたか？）	販売店にご連絡ください。

電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態では煙やCOを検知できず、火災警報・CO警報動作をすることができませんので注意してください。

11. アフターサービスについて

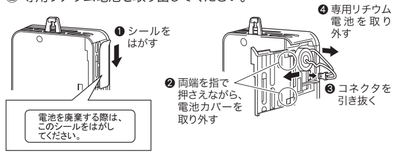
■ この警報器の保証期間はお取り付け日から5年間です。保証書をご参照ください。
保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることがあります。お取り付け時にご確認ください。
保証書は大切に保管してください。
■ 交換期限は機器本体に表示しています。お取り付け時にご確認ください。交換期限を経過した警報器は、規定の濃度で警報しないなど誤動作のおそれがあります。新しい警報器とお取り替えください。
■ 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「10. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
■ 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
■ 電池について
電池切れになったときは、販売店にご連絡ください。
■ アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。
■ 警報器の交換期限を過ぎたときは、販売店までご連絡ください。
■ 引越しをされるときは、販売店までご連絡ください。

12. 廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法に従ってください。
＊ 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

古くなった専用リチウム電池の取り外しと廃棄

① 警報器を取り外してください（「8. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照）。
② 専用リチウム電池を取り出してください。



③ 専用リチウム電池を廃棄してください。
※ この製品に使用している電池は、「一次電池（リチウム電池）」です。
一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

⚠警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

13. 仕様

項目		仕様
火災警報機能	種別	光電式住宅用防災警報器
	感知方式	煙感知方式
	型式	電池方式、2種、連動型、自動試験機能付
	火災連動入出力	相互鳴動用火災連動入出力　有極性　自動復帰式
		監視時入力（DC30V以下） 警報時出力（DC1.2V以下、100mA）
CO警報機能	検知対象ガス	燃焼排ガス中のCO　（一酸化炭素）
	検知方式	電気化学式
	CO警報 作動条件	550ppmのCOに対し　5分以内に警報 300ppmのCOに対し　10分以内に警報
	CO警報 表示・発報方式	黄（CO警報）ランプ点滅 音声合成警報音
快適環境おしらせ仕様	熱中症おしらせ 危険 作動条件	31℃以上（WBGT値）
	熱中症おしらせ 危険 表示・発報方式	橙ランプ点滅 音声合成音
	熱中症おしらせ 厳重警戒 作動条件	28℃以上31℃未満（WBGT値）
	熱中症おしらせ 厳重警戒 表示・発報方式	橙ランプ点滅 警報停止スイッチ押下時音声合成音
	乾燥おしらせ 作動条件	絶対湿度7g/m³以下 温度30℃未満
	乾燥おしらせ 表示・発報方式	青ランプ点滅 警報停止スイッチ押下時音声合成音
共通仕様	警報音量	70dB(A)/m以上
	電源	専用リチウム電池　CR17450E-N　DC3V
	電池寿命	約5年※
	定格	DC3V、300mA
	使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
	寸法	幅85×高さ100×奥行き30mm
	質量	約150g　（専用リチウム電池含む）
付属品		取付フック、石膏ボードピン(3本)、取付ねじ(1本)、 取扱説明書(保証書付)(本書)、施工説明書 引きひも(点検ツマミ付)（本体に取り付けられています。）

※ 5年間の寿命を保証するものではありません。ご使用環境の温度、湿度、ホコリの量や、点検回数(火災警報回数)などのご使用条件によって短くなる場合があります。

無料修理規定　（保証書　続き）

1. 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（1）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店までお申し付けください。
（2）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、弊社にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
3. 本書に定める保証の範囲は機器本体（専用電池を含む）とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。
4. 保証期間内でも次のような場合には原則として有料修理となります。
（1）使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。
（2）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。
（3）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常温度、異常雰囲気、異常電圧等による故障および損傷。
（4）一般家庭用以外（例えば業務用設備、車両、船舶など）に使用された場合の故障、および損傷。
（5）過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。
（6）取付場所が不適切で、調理の煙や湯気、ホコリなど、住宅環境による警報発生により電池が消耗した場合。
（7）本書のご提示がない場合。
（8）本書にお取り付け日、販売店名の記載がない場合。あるいは字句を書き替えられた場合。
5. 本書は日本国内のみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※ この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料修理をお約束するものです。ただし、個装箱に記載されている取付期限を過ぎて取り付けられたものは、保証の対象ではありません。
※ お客さまにご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※ この保証書によって、保証書を発行している者（保証者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
※ 保証期間経過後の修理については取扱説明書をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.